

かぞえうた（かずをあらわすことば）

かずを あらわす ことばには いろいろな しゅるいが あるよ。
かずを あらわす ことばを たのしく がくしゅうできる かぞえうたを
いくつか しょうかい するよ。

かずとは

「かず」とは、ものの じゅんばんや、ものが どのくらい あるかを あ
らわすものだよ。

さんすうでは 1・2・3・4・5・6・7・8・9・10 というように
すうじて かずを がくしゅうしているよね。

にほんごでは、ものが どのくらい あるかを あらわすときに、その
かぞえる ものによって、きまった ことばを つかうんだ。

それが、「かずを あらわす ことば」だよ。



かずを あらわす ことば

それでは、かずを あらわす ことばには、どんな ものがあるか かくにんしてみよう。

「とう」

「とう」は、どうぶつなどを かぞえるときに つかう ことばだよ。どうぶつの なかでも、にんげんよりも おおきい どうぶつをかぞえるときに つかうよ。

れい：「うしが 1とう」「うまが 2とう」

「ひき」

「ひき」も、どうぶつなどを かぞえるときに つかう ことばだよ。どうぶつの なかでも、こんどは にんげんよりも ちいさい どうぶつをかぞえるときに つかうんだ。

れい：「うさぎが 1ひき」「ねこが 2ひき」



「まい」

「まい」は、うすいものを かぞえるときに つかう ことばだよ。

れい：「おさが 1まい」「プリントが 2まい」

「さつ」

「さつ」は、ノートや ほんなどを かぞえるときに つかう ことばだよ。

れい：「ノートが 1さつ」「きょうかしょが 2さつ」

「だい」

「だい」は、のりものなどを かぞえるときに つかう ことばだよ。

れい：「じてんしゃが 1だい」「くるまが 2だい」



「ほん」

「ほん」は、ほそながいものを かぞえるときに つかう ことばだよ。

さらに、「ほん」は かずによって「ほん」・「ぽん」・「ぼん」というように かわったりもするよ。

れい：「えんぴつが 1ぽん」「おはしが 2ほん」「ぼうが 3ぼん」

「そく」

「そく」は、あしに はくものを かぞえるときに つかう ことばだよ。

「そく」は、りょうあしに はく ぶんが そろって いるときに つかうんだ。

れい：「スニーカーが 1そく」「スリッパが 2そく」

「りん」

「りん」は、さいている はななどを かぞえるときに つかう ことばだよ。

いっぽんの くきに、はなが ひとつだけ さいているものに つかうことが おおいよ。

れい：「バラが 1りん」「ひまわりが 2りん」



「つぶ」

「つぶ」は、ちいさくて まるっこいものを かぞえるときに つかう ことばだよ。

れい：「ごまが 1つぶ」「タネが 2つぶ」

「にん」

「にん」は、にんずうを かぞえるときに つかう ことばだよ。

ただし、「1」と「2」の ときは、とくべつな いいかたを するので、ちゅういが ひつようだよ。

「1」の ばあいは、「ひとり」というよ。

「2」の ばあいは、「ふたり」というよ。

れい：「こどもが ひとり」「せんせいが ふたり」「おとなが 3にん」

